

Laudato Si Circle 3

2022年7月31日(日)

1. 始めの祈り: キリスト者の祈り — 被造物と共に
(講義では時間がなく家で各自祈ることに。資料の最後 P8,9 に掲載)
2. Laudato Si は以下のように教会の社会教説の **SEE**、**JUDGE**、**ACT** の方法に従います。

SEE (観察すること)

第一章 共に暮らす家に起きていること

JUDGE (判断すること)

第二章 創造の福音

第三章 生態学的危機の人的根源

第四章 総合的なエコロジー

ACT (行動すること)

第五章 方向転換の指針と行動の概要

第六章 エコロジカルな教育とエコロジカルなえ霊性

今日は第一章 SEE の〈ともに暮らす家に起きていること〉について一緒に考えて、分かち合いたいと思います。始まる前に、“先生、目が見えるようになりたいのです。”(マルコ 10 章 5 1 節) と願った盲人の心で今日の話に耳を傾けましょう。

3. 第一章 ともに暮らす家に起きていること

現在私たちが直面している世界の様々の状況での信仰の役割を考える前に、皆が共に暮らす家に何が起きているかを見てみましょう。人間が活動する速度は生物の進化のゆっくりとしたペースとは対照的です。このように急速で絶え間のない変化は、必ずしも一般的な善性や人類の発展には、かなっていません。変化はある意味で望ましいものですが、地球と被造物とそして人類の大多数の生活の質に害をもたらすならば、不安の源となります。地球に起きていることについて真摯で憂慮ある懸念が膨らむにつれ、環境と自然保護への関心が高っています。今の私たちの狙いは、情報の蓄積や好奇心の満足ではなく、むしろ、痛みをもって気づくこと、

世界に起きていること敢えて自分自身の苦しみとすること、そして一人ひとりがそれについてなしうることを見つけ出すことです。

(1) 汚染と気候変動

汚染、廃棄物、使い捨て文化

輸送機関、工場の排煙、土壌や水の酸性化を助長する物質、肥料、殺虫剤、殺菌剤、そして農業一般によって引き起される大気汚染と土壌や水の汚染はすべての被造物と人間、特に貧しい人々の健康と暮らしに大きな悪影響を及ぼしています。テクノロジーは、ビジネス上の利害との絡みの中で、こうした問題を解決する唯一の道として提示されますが、一つの問題の解決が他の諸問題を生み出しています。

毎年、数億トンもの廃棄物が生じています。それらは、家庭や職場のゴミ、建設廃材、医療廃棄物、電子機器廃棄物、工業廃棄物で、その多くは生分解性（地中や水中で微生物などにより分解される性質）を有さず、高い毒性と放射性をもっています。地球はますますゴミの山になり、人間と被造物の暮らしにとっても有害な影響を及ぼしています。

こうした問題は、使い捨て文化と密接につながっており、そうした文化では、ちょうど物がすぐゴミにされてしまうのと同様に、除外された人々が悪影響をこうむるのです。自然生態系のすべてのものは循環しますが、私たち人間が作り出すゴミや廃棄物などはなかなか循環しません。私たちの産業システムは、生産と消費のサイクルが一巡する終点で廃棄物や副産物を吸収し再利用する能力を開発してこなかったのです。

Q：日常生活の中のどこで使い捨て文化を見つけられますか。使い捨て文化を打開するために必要なのは何でしょうか。

共有財としての気候

現在の地球的危機の中で私たちが特に関心を持つのは、気候です。気候変動は、環境、社会、経済、政治、そして財の分配に大きく波及する地球規模の問題です。ここ数十年間、温暖化には不断の海面上昇が伴っています。ここ数十年間の地球温暖化の大部分は、主に人間活動の結果として放出される温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、窒素酸化物、その他)の異常な蓄積によるものであることを、いくつもの科学研究が示してい

ます。こうしたガスは、大気圏内に蓄積されて、地表で反射された太陽光線の熱が大気圏外に発散するのを妨げます。

世界規模でのエネルギーシステムの中核をなす化石燃料の集約的利用に基づく開発モデルが、この問題を悪化させます。もし現在の傾向がこのまま続けば、今世紀が著しい気候変動と空前の生態系破壊の舞台となり、私たち皆が深刻な影響をこうむるのも不思議ではありません。今後数十年の内に、開発途上諸国が、その最悪の打撃を味わうことでしょう。悲しいことに、今も世界中いたるところで生じている苦しみに無関心が広がっています。

私たちの兄弟姉妹を巻き込むこうした悲劇に対する反応の鈍さは、あらゆる市民社会の基礎である同胞への責任感の喪失を示しています。より多くの資金と経済的あるいは政治的権力を有する人々の多くは、大抵、問題を覆い隠したり、その兆候をかくしたりすることに気を取られ、気候変動の負の影響をいくらか減らす努力しかしていないように見えます。ここ数年のうちに、例えば、化石燃料に代わって、再生可能エネルギー源を開発し、二酸化炭素や他の高度汚染ガスの排出を大幅に削減しようとするような政策を緊急に講じる必要があります。

Q：日常生活で気候危機をどのように経験していますか。地球温暖化についてどう思いますか。地球温暖化に対抗できる方法は何でしょうか。気候市民会議について聞いたことがありますか。

(2) 水問題

きれいな水は健康管理、農業、工業のためには必要です。水の不足は特にアフリカに影響を及ぼし、人口の大部分が安全な飲み水を入手できなかつたり、農業生産を妨げる早魃を経験したりしています。続いて日々、安全でない水が、水に関連した疾病の蔓延を招いています。安全な飲み水を入手することは、人間の生存に不可欠であり、普遍的な基本的人権です。しかし、水を市場の法則に従う一商品に変え、民営化しようとする傾向が強まっている場所があります。先進国においてだけでなく、豊富な水を有する開発途上国においても、水が浪費され続けています。このことが示すのは、水問題とはある面では教育や文化の問題であるということです。そうした行動の深刻さを甚だしい不平等という文脈で意識することがほとんどないからです。

水の希少性が増せば、食品や、水使用に頼る様々な製品の価格上昇につながります。巨大な多国籍ビジネスによる水支配が、今世紀の主な紛争源になるかも知れないと言う想定もありえます。

Q：一日中どれほど水を使っているのか観察してみましょう。水の浪費を減らす方法を考えてみましょう。

(3) 生物多様性の喪失

毎年、幾千もの動植物種の消滅を目の当たりにします。そうした種は永遠に失われてしまったため、私たちが知ることも、私たちの子孫が会うこともないでしょう。大多数は人間活動に関連する理由で絶滅します。私たちのせいで、もはや何千もの種がその存在をもって神に栄光を帰すこともなく、私たちにそのメッセージを伝えることもなくなるのです。生態系の健やかな機能は、菌類、藻類、蠕虫類、昆虫類、爬虫類、そして数えきれない種類の微生物を必要としています。しかし、何らかの事業計画が行う環境影響評価においては、通常、土壌と水と大気に関心が向けられますが、まるで種や動植物集団の喪失はささいな重要性しかもたないことが多いです。すぐ、手軽に得られる利益を求める人の誰もが本気で保存しようなどとは思わない生態系を気遣うには、遠くを見通す目が必要です。しかし、そうした利己的な関心不足によって引き起こされる損失のコストは、得られる経済的便益よりもはるかに大きいのです。

地球生態系にとって、極めて重要であるゆえ、あるいは重要な水補給源としてほかの生命形態の存在保障となるゆえに、保護の強化が必要とされる場所があります。地球の肺と称される生物多様性が豊富な場所、例えば、アマゾンやコンゴ盆地、あるいは大規模な帯水層や氷河などです。森が耕作目的で焼き払われたり伐採しつくされたりすると、数年もあれば無数の種が失われ、しばしば不毛の荒地と化してしまうのです。

海洋は、地球の水供給の大部分を賄うだけでなく、膨大な種類の生物のほとんどを擁しています。特に脅かされているのは、ある種のプランクトンのような、私たちが見落としがちな海洋生物です。

熱帯や亜熱帯の海で見られるサンゴ礁は陸地の巨大な森林に相当するものです。魚類、甲殻類、軟体動物、海綿動物、藻類を含め、百万近くの種のすみかになっているからです。サンゴ礁の多くが、枯れたり、あるいは衰退し続けています。この現象は、森林伐採や単一栽培農業、産業廃棄物や破壊的な漁法、中でもシアン化物やダイナマイトを使

用する漁業の結果として海に達する汚染によるところが大きいのです。それは海水温の上昇によってさらに悪化します。

生態系機能のより完全な理解と、重大な環境変化に連動する様々な可変要因の適切な分析を目的とする調査研究に、さらに資金を投ずる必要があります。すべての被造物はつながっているのですから、愛と敬意をもってそれぞれを大切に受け止めなければなりませんし、私たちは皆互いを必要としている被造物なのです。それぞれの地域には、この家族を気遣う責任があります。

Q：子供の頃はよく見たのですが、今は消滅された動植物、あるいは、なかなか見なくなった動植物がありますか。そうなった原因は何だと思いますか。

(4) 生活の質の低下と社会の崩壊

人間も生存権や幸福権、そして、尊厳性をもっている世界の自然秩序に属しています。しかし、多くの都市は不均衡で無秩序で拡大しています。地方でも都会でも、場所によっては空間が私有化され接近が難しくなる所があります。経済的、技術的成長が必ずしも全人的発展や生活の質向上にはつながらなかったため、社会の崩壊が生じ、不公平な分配や消費、社会の分断化、暴力増加、そして、アイデンティティ喪失を生み出しています。さらに、メディアとデジタル世界は知恵と深慮と惜しみない愛を持って生きるすべてを学べなくなります。省察や対話や人々の豊かな出会いの実りである真の叡智の欠けているデータの蓄積は一種の心の汚染です。今日の通信手段は、知識や感情の伝達や共有を可能にしてくれます。しかし、他者の苦悩や恐れや喜びなどに直接接触れることを妨げる懸念もあります。そうした手段が提供する刺激的な可能性とともに、対人関係についての深く憂鬱な不満、あるいは有害な孤立を引き起こす可能性についても心に留めておくべきです。

Q：経済的、技術的、テクノロジーの発展の光と影は何ですか。

(5) 地球規模の不平等

人間環境と自然環境は共に悪化し、それは特に、最も弱い人々に影響します。現在の不均衡の悪影響はまた、多くの貧しい人々の早逝にも、資源不足が火種となった紛争にも、そして国際的な行動計画の中で十分に取り上げられていない他の諸問題にも見られます。概して、除外された人々に殊に影響を及ぼす諸問題を、ほとんどの人ははっきりと自覚でき

ていないと言わざるを得ません。こうしたことの原因の一部は、多くの専門家、オピニオンリーダー、メディア、権力中枢の存在が、彼らからは遠く離れた豊かな都市部であり、彼らの問題に直接関与することはほとんどない、という事実にあります。しかし、真のエコロジカルなアプローチは、つねに社会的なアプローチになるということ、すなわち、大地の叫びと貧しい人の叫びの双方に耳を傾けるために、環境についての討論の中に正義を取り入れなければならないということです。貧困の問題は現在の分配の構造と消費主義のことを考えさせます。生産された食品のおよそ三分の一が捨てられていること、“食料を捨てるなら、貧しい人の食卓から奪うことになる”ということ、私たちは知っています。

不平等は、個人ばかりでなく、国全体にも影響を及ぼします。ですから、国際関係における倫理について考えねばなりません。また、いくつかの富裕国の莫大な消費が原因である温暖化は、世界の最も貧しい地域に悪影響を及ぼします。天然資源の枯渇、森林破壊、露天掘り方式の炭鉱採掘跡、汚染された河川、さびれた集落など、先進国では許可されない環境と人に莫大な被害を与えることを多国籍企業は開発途上国では行っています。生物圏の最重要指定保護区域を擁する開発途上国は、自国の現在そして将来を犠牲にして、富裕国の発展に寄与し続けています。先進国は、非再生可能エネルギーを制限することや、持続可能な開発のための政策や計画への支援を通してより貧しい国に資することでエコロジカルな責務の返済に貢献しなければなりません。

Q：私は他国、特に貧しい国や人に目と耳を傾けていますか。そのために政府や企業に私たちの声を伝える方法は何でしょうか。

(6) 反応の鈍さ

私たちが別の道を歩むようにとの懇願の叫びを、世界中の見捨てられたすべての人とともに、姉妹である地球にも上げさせてきたのは、こうした状況です。この二百年間ほど、皆が共に暮らす家を傷つけ、虐げてきた時代はありません。しかし、国際政治における反応の鈍さは注目に値します。政治はテクノロジーと金融とに支配されて、経済的利害がいつもたやすく共通善に優先されてしまいます。そして、民衆のエコロジカルな意識は高まりつつありますが、有害な消費習慣は減少するよりむしろさらに拡大しています。その間、経済大国は、人間の尊厳や環境への影響はいうまでもなく、背景というものを考慮しない投資や金融上の利益追求を優先させながら、現今の世界の構造を正当化し続けます。

Q：民衆のエコロジカルな意識は高まりつつありますが、有害な消費習慣は減少するよりむしろさらに拡大している理由は何ですか。

(7) 様々な意見

こうした状況とその可能な解決策に関して、新たな技術的応用によって解決されるという考え方と人間自体が問題なので、人間の数を減らし、人的介入はすべて禁じるべきだという両極端があります。しかし、この両極端の間で、将来に向けての可能なシナリオを描かなければなりません。具体的な多くの問題に関して、教会は最終的な見解を提示する資格を有してはいませんし、専門家間の真摯な議論に、意見の相違を尊重しつつ、耳を傾け、それを推奨していかなければならないことを承知しています。環境問題において世界で起きている問題を、それぞれ別個のものとして分析したり説明したりすることはできませんが、兎に角、現今の世界の構造は、多様な観点から持続不可能であることは確実です。

第3回 以上。

キリスト者の祈り — 被造物と共に

我が父よ、あなたは称えられますように、
被造物と共にいるあなたは。
被造物は 造られました、
あなたの強い手で。
彼らはあなたのもの、
あなたの愛に満たされたもの。
あなたは 称えられますように。
神の子イエスよ、
すべてのものは あなたによって造られました。
あなたはみ母マリアの胎内にやどられ、
人となりました。そして
この世を人間の目で見えています。
いま、あなたは被造物の中で生き、
天の栄光の中に生きておられます。
あなたは たたえられますように！
イエスの光の聖霊よ
あなたは この世を導いてくださいます、
父の愛に向かって。
そして苦しみにうめく被造物に
寄り添ってくださいます。
あなたはまた私たちの心に住み
わたしたちが良いことをするように励ましています。
あなたは 称えられますように！
三位一体の主よ 確かな愛の
すばらしい共同体よ、
わたしたちに あなたへの瞑想を教えてください。
この美しい宇宙の中で、
被造物と共に祈るキリスト者の祈りを、
あなたに呼びかけるすべてのもののために。
呼び覚ましてください、
あなたに造られたすべてのものの
賛美と感謝のこころを。
そこにあるすべてのものに
深く交わる恵みを。
愛の神よ この世界に
あなたの愛への道を示してください、
地上のすべての被造物のために
被造物の一つも
あなたの目から忘れられないように。
教えてください、

富と権力のある人に。
彼らが無関心の罪を離れ、
すべての人の幸せを愛し、
弱い人を助けるように、
そして私たちの地球をいつくしむように。
貧しい人と地球は叫びを上げています。
おお、主よ、あなたの力の光でわたしたちを包んでください、
すべてのいのちをまもるように、
わたしたちを 助けてください。
良き未来のために、
正義と平和と愛と美しい国が来ますように。
あなたは たたえられますように！
アーメン。

2015年、ラウダート・シ、教皇フランシスコ